



文化庁委託事業「平成30年度戦略的芸術文化創造推進事業」

Christian Arming

Makoto Ozono**

Mathias Müller*

Shoko Kanai**

広島交響楽団

Music for Peace Concert

ベートーヴェン生誕250年プロジェクト/2016-2020 and beyond



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

Program.

グラウプナー：シンフォニア ヘ長調*

*Graupner: Sinfonia in F major, GWV 566**

ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲第1番ハ短調**

*Shtostakovich: Concerto for Piano, Trumpet, and String Orchestra in C minor, Op.35***

ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調*

*Beethoven: Symphony No.7 in A major, Op.92**

指揮：クリスティアン・アルミンク ピアノ：小曾根 真**

ティンパニ：マティアス・ミュラー*

(ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団首席ティンパニ奏者)

トランペット：金井 昴子** (広響トランペット奏者)

管弦楽：広島交響楽団 コンサートマスター：佐久間 聡一

“Music for Peace”を発信するため海外からオーケストラ奏者を招聘します

パリ管弦楽団

ヴァイオリン：ナディア・メティウニ

ヴァイオリン：シル・アンリ

シンフォニア・ヴァルソヴィア

首席第2ヴァイオリン奏者：カミル・スタニチェク

首席コントラバス奏者：ニコラス・フランコ

主催：文化庁、公益社団法人広島交響楽協会

共催：中国新聞社、中国放送 協力：KAJIMOTO

後援： ポーランド広報文化センター
INSTYTUT POLSKI TOKIO

2019. 2. 24 日

15:00開演 [14:00開場]

広島文化学園HBGホール (広島市中区加古町3-3)

全席指定 (税込)

S席/5,000円 A席/4,000円 (学生/1,500円)

プレイガイド

チケット発売日：10月24日(水)

エディオン広島本店、福屋八丁堀本店、
福屋広島駅前店、アルパーク天満屋、広島アーツ楽器、中国新聞社読者広報部、
ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場、中国新聞販売所(取り寄せ)、
ローソンチケット(Lコード:62025)、チケットぴあ(Pコード:105-429)、
広響事務局(学生は広響事務局のみ販売)

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。
※開演時間に遅られた場合、入場に制限がございます。



お問い合わせ | 広島交響楽団事務局 TEL.082-532-3080(平日9:00~17:20)

Music for Peace Concert

指揮：クリスティアン・アルミンク

Christian Arming/Conductor

ウィーン生まれ。ウィーン国立音楽大学でハーガーに学んだあと、ボストンの小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン交響楽団や新日本フィルハーモニー交響楽団にデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン交響楽団の音楽監督などを経て、2003年から13年まで新日本フィルの音楽監督を務め、その充実した活動が高く評価された。2011年からベルギーの国立リエージュ・フィルハーモニー管弦楽団の音楽監督、2017年4月から広島交響楽団の首席客演指揮者に在任中。これまでにベルリン・ドイツ響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、ウィーン響、サンタ・チェリーリア国立管、N響などに客演し、オペラではフランクフルト歌劇場やストラスブール歌劇場などで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》などを指揮。新日本フィル時代には《レオノーレ》《フィレンツェの悲劇》など、オペラ・プログラムにも積極的に取り組んだ。レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シューベルト作品、新日本フィルとのブラームス/交響曲第1番、マーラー/交響曲第3番および第5番のほか、直近ではリエージュ管とフランク/交響曲二短調をリリースしている。

Photo Credit (front) : Shumpei Ohsugi



広島交響楽団

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

国際平和文化都市「広島」を本拠地とし、中・四国を代表するプロオーケストラ広響は、2017年4月より下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年終身名誉指揮者に就任した。2015年8月、被爆70年として広島とサントリーホール（広響初）で行われた「平和の夕べ」コンサートでマルタ・アルゲリッチと協演し、大成功をおさめた。これを機にアルゲリッチに広響「平和音楽大使」の称号を贈り、相互に世界平和のための音楽活動が続けることを約束した。2016年4月にはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデが広響ミュージック・パートナーに就任した。これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞（文部大臣表彰）」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞（ユネスコ）」「広島市民賞（2013年度）」を受賞。

ティンパニ：マティアス・ミュラー

Mathias Müller/Timpani

1965年生まれ。12才よりロストック音楽院で、1982年から1987年までライプツィヒ音楽大学で打楽器を学ぶ。1987年、クルト・マズア率いるライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団に打楽器奏者として入団。1989年、ドイツ民主共和国からドイツ連邦共和国へ逃れ、1990年から1996年までシュトゥットガルト・フィルハーモニー管弦楽団で活動。1996年、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団に戻り、2000年より同楽団の首席ティンパニ奏者を、ヘルベルト・ブロムシュテット、リカルド・シャイー、現在はアンドリス・ネルソンスのもとで務めている。これまでに、バイエルン放送交響楽団、ハンブルク北ドイツ放送交響楽団、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団、ザクセン州立歌劇場管弦楽団、シュターツカペレ・ベルリン、バイエルン国立歌劇場、バハ管弦楽団などの世界的オーケストラと共演を重ねる。現在はロストックとライプツィヒの音楽院で後進の指導にも力を入れている。2017年、アフィニス夏の音楽祭in広島に出演、2018年の夏にはバイロイト祝祭管弦楽団に参加した。



ピアノ：小曾根 真

Makoto Ozone/Piano

1983年バークリー音大ジャズ作・編曲科を首席で卒業。同年米CBSと日本人初のレコード専属契約を結び、アルバム「OZONE」で全世界デビュー。チック・コリア、ゲイリー・バートン、ブランフォード・マルサリスなど世界的なプレイヤーとの共演や、自身のビッグ・バンド「No Name Horses」を率いるなど、ジャズの最前線で活躍を続けている。また、クラシックにおいても比類ない才能を開花し、NYフィル、サンフランシスコ響、シカゴ交響楽団など、欧州のオーケストラとも共演を重ねている。2017年、10年ぶりに小曾根真THE TRIOを再結成し、アルバム「ディメンションズ」をリリース。また、ニューヨーク・フィルに招かれ、「バーンスタイン生誕100年祭」定期演奏会に出演。このライブ録音は、18年3月、「ビヨンド・ボーダーズ」と題してCDリリースを果たした。映画音楽など、作曲にも意欲的に取り組み、多彩な才能でジャンルを超え、幅広く活躍を続けている。平成30年度紫綬褒章受章。オフィシャル・サイト <http://makotoozone.com/>



Photo Credit (front) : 中村風詩人

トランペット：金井 晶子

Shoko Kanai/Trumpet

大阪府箕面市出身。2014年大阪音楽大学器楽学科管楽器専攻卒業。2016年同大学院音楽研究科器楽専攻修了。在学中より関西を中心にオーケストラ客演、室内楽演奏にて活動する。2016年よりザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団登録団員を経て、2017年に広島交響楽団に入団。大阪音楽大学演奏員も務める。第6回関西トランペット協会コンクール課題曲部門第3位。第20回浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバルを受講。選抜受講生によるプレミアムコンサートに出演。関西音楽大学協会主催「第33回アンサンブルの夕べ」に金管五重奏で出演。「京都・国際音楽学生フェスティバル 2014」に金管五重奏、オーケストラメンバーとして出演。これまでにトランペットを吉田治人、秋月孝之、飯塚一郎、神代修の各氏に師事。室内楽を池田重一氏に師事。



©青野文幸

“Music for Peace”

— 2020年、そして未来に向けて

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて、国際平和文化都市であり世界的な認知度をもつ「広島」のオーケストラとして、世界に音楽文化と平和発信する公演を企画し実現に向けて取り組んでまいります。2020年が生誕250年となるベートーヴェンの作品で、文化芸術を高らかに奏でることにより、平和と文化の祭典としてのオリンピックを盛り上げ2020年以降の文化レガシーの創出にも取り組みます。

一 事業の指針

- 日本国内そして世界に向けた平和のメッセージと文化発信を行います。
- 世界的な平和発信のために海外オーケストラ奏者の招聘と交流を行います。
- 海外への情報発信も積極的に行います。

以上の事業指針のきっかけとなったのは、ショパン国際ピアノ・コンクールで深くポーランドと係わりを持ち、「原爆投下とホロコーストを第2次世界大戦でのもっとも恐ろしい犯罪」とし、“Music Against Crime” — 「音楽は人を愛することを育み、人を傷つけさせる気持ちを萎えさせる力」と言うマルタ・アルゲリッチ氏（広響平和音楽大使）の信念と当団のテーマ、“Music for Peace”が共感したことに因ります。

